

## 第2章 「子ども・若者プロジェクト」の推進

### 1 プロジェクトの趣旨

本県においては、前章のとおり、こどもを生む世代の女性人口の減少に加え、ライフスタイルの変化や価値観の多様化による未婚化・晩婚化の進行、さらには、コロナ禍以降の婚姻数の大きな落ち込みなど、少子化が急速に進んでいます。

一方で、本県の合計特殊出生率は上位（R5：2位）にあり、婚姻や出生の構造を全国と比較すると、20歳代の結婚が多い、第3子・第4子の出生割合が高いといった特長が見られます。

このような本県の強みや特長を生かし、さらに伸ばすことで少子化に歯止めをかけるため、令和5年度から8年度までの短期集中的な取組として、日本一挑戦プロジェクト「子ども・若者プロジェクト」を展開しています。

### 2 プロジェクトの目指す姿

**「日本一生き育てやすい県への挑戦！」**  
～県・市町村一丸となって、子ども・若者政策の好循環を創出し、人口減少を抑制～

### 3 プロジェクトの柱と取組の方向性

目標の実現に向け、以下の3つの柱で取組を整理しています。

- (1) 出逢い・結婚の希望を叶える
  - ・結婚に対するポジティブイメージの醸成
  - ・結婚を希望する独身者に向けた施策の強化
  - ・市町村、企業、団体における出逢い・結婚支援の取組の強化
- (2) 子どもがほしい人の希望を叶える
  - ・男性の家事・育児参加の促進など、第2子以降の希望を後押しする施策の強化
  - ・子育ての負担軽減に向けた受け皿の充実と人材確保
  - ・市町村の実情に応じた専門家による伴走支援
- (3) 安心して子育てをすることができる教育環境をつくる
  - ・教育的支援が必要な子ども達を誰一人取り残すことのない学びの環境の充実
  - ・海外での活躍など、こどもの将来の夢や希望を強く後押しする取組の強化

また、少子化には、婚姻や出産の減少だけでなく、今後親世代となる若者、特に女性人口の減少も大きく影響していることから、令和7年度からは、女性・若者の県内定着に向けた環境づくりについても、本プロジェクトの中で取組を強化していきます。

### 4 プロジェクトの重点指標

	指標設定時（R4）	目標値（R8）
合計特殊出生率	1.63	1.8台
婚姻数	3,805組	4,500組